

環境学習プログラム 作成団体を募集します

応募締切：平成26年5月22日(木)



仙台市内の特色ある自然環境や都市環境をフィールドに、地域の素材を活用した体験型の環境学習プログラムを作成し、学校等で実践する団体（環境NPO、サークルなど）を募集します。

社々かんきょうレスキュー隊とは

環境NPOなどが作成した環境学習プログラムを、小中学校や保育所等の児童生徒や教師、市民の皆さんに体験していただくことで、「環境問題に気付き、自ら環境に配慮した行動ができる人（二かんきょうレスキュー隊員）」を育てる事業です。（主催：市の都の市民環境教育・学習推進会議「FEEL Sendai - フィールドアイ -」）

これまでに延べ2万5千人以上の方がプログラムを利用して学習しています。詳しい事業内容や、これまでに作成されたプログラムについては、FEEL Sendaiのホームページをご覧ください（<http://www.feel-sendai.jp/morimori/>）。

★参加のメリット★

- ・プログラム作成を通して活動を普及させることができ、団体のスキルアップにつながります！
- ・プログラムの実施先となる小中学校や地域団体、FEEL Sendaiの各事業に参加する市民や団体などとの交流、ネットワークづくりができます！

募集要項

26年度募集テーマ：「地域の環境と防災」

◆作成プログラムのテーマについて

震災をきっかけとして、人々の中でエネルギーや自然、地域の環境などに対する意識が高まりました。そしてその意識の先の一つには、防災があります。「環境（地域・自然）を知る」防災、「環境を活かす」防災、そうした考えは、環境と共存できる、持続可能なまちづくりへもつながっていきます。

来年には、仙台で「国連防災世界会議」の開催も予定され、市民の中でも防災への意識は高まる一方です。そんな今年度は、防災をテーマとした、体験型の環境学習プログラムを募集します。

たとえば・・・（プログラム内容の例）

- ・自然の材料で仮想避難所を設置する
 - ・地域の地形やまち（道路や建物、植物）のつくり・役割を調べる
 - ・食糧備蓄畑をつくる
- など